

平成22年度9月補正予算の概要について

平成22年9月2日

平成22年度9月補正予算の概要を公表いたします。

今回の補正予算につきましては、県民生活の安全・安心を確保する事業や厳しい雇用情勢に対応する事業など、真に緊急を要する経費を中心に予算を計上することといたしました。

その主な内容といたしましては、

まず、安全・安心確保対策として、

- ・ 国道400号金山町玉梨スノーシェットの落石対策と通行止めに伴う迂回路整備の実施や集中豪雨等により発生した落石箇所の緊急対策を講じるための所要の経費
- ・ 住民の生活交通を確保するため、災害時に市町村が実施するバス代替事業に補助を行うための経費 を計上するとともに、
- ・ 入居者の安全を確保するため、スプリンクラーの設置が義務付けられた高齢者施設への支援を促進するとともに、新たに、設置義務のない高齢者施設のスプリンクラー整備を支援する本県独自の補助制度

を創設することといたしました。

次に、雇用環境が依然として厳しいことから、

- ・ 緊急雇用創出基金を活用し、地域産業振興、介護人材の育成及び若年者就職支援に重点を置き、将来に渡って安定的な雇用につながるような能力・技能を備えた人材の育成に係る所要の経費
- ・ ひとり親が家事・子育てと仕事を両立することができるよう、ひとり親に対する在宅就業の支援に係る所要の経費

を計上いたしました。

次に、知的障害児施設、大笹生学園の全面改築に着手するとともに、須賀川養護学校わかさ学習棟の移転整備に係る所要の経費を計上いたしました。

さらに、家庭教育サポートセミナーの開催や子ども読書活動の推進、幼児を同乗させる場合の自転車安全利用教育など、子育て家庭支援に係る所要の経費を計上いたしました。

以上により、一般会計における補正予算の総額は、27億2千9百万円で、本年度予算の累計は、9,049億4千8百万円となります。

平成22年度9月補正予算主要事業一覧

(単位千円)

- 1 緊急落石対策事業(土木部) < 公共・県単公共・維持補修 > 600,000
国道400号金山町玉梨スノーシェッドへの落石対策及び通行止めに伴う迂回路対策を実施するほか、集中豪雨等により発生した落石箇所の緊急対策を実施する。
- 2 市町村生活交通対策のための補助(生活環境部) 1,025
災害により既存のバス路線が遮断され、住民の生活交通を確保するために市町村が実施する代替事業に補助を行う。
- 3 集中豪雨緊急対策事業(土木部) < 県単公共・維持補修 > 119,800
集中豪雨による河川水位の急激な上昇や土砂崩れなどから県民の生命・財産を守るため、河川への水位表示板の設置や被災した箇所の土砂災害防止等の対策を実施する。
- 4 小規模介護施設等緊急整備等臨時特例基金事業(保健福祉部) 470,472
消防法上スプリンクラー設置義務のある既存の高齢者施設に対する設置費用の補助について、今年度の補助対象施設数を追加し、未設置施設への早期整備を図る。
- 5 高齢者施設スプリンクラー緊急整備推進事業(保健福祉部) 100,010
消防法上スプリンクラー設置義務のない既存の高齢者施設において、スプリンクラーを設置する場合に、本県独自の補助制度を創設する。
- 6 緊急雇用創出基金事業(商工労働部) 700,000
雇用環境が依然として厳しいことから、地域産業振興、介護分野及び若年者就職支援を中心に雇用を創出し、将来に渡って安定的な雇用につながるような能力・技能を備えた人材の育成を図る。
- 7 ひとり親家庭等在宅就業支援事業(保健福祉部) 78,085
ひとり親が家事・子育てと仕事を両立することができるよう、必要な訓練や業務の掘り起こし・配分などひとり親に対する在宅就業を支援する。
- 8 大笹生学園改築整備事業(保健福祉部) 35,900
老朽化した大笹生学園の施設を全面改築するため、設計委託等を行う。
- 9 須賀川養護学校わかさ学習棟整備事業(教育庁) 13,692
独立行政法人国立病院機構福島病院わかさ病棟の移転に伴い須賀川養護学校わかさ学習棟を移転整備するため、設計委託等を行う。

10 大規模改造事業（教育庁） 59,403
 県立学校における一層の耐震化を推進するため、実習棟・合宿所等について耐震改修基本計画を策定する。

11 地域子育て創生事業（知事直轄・保健福祉部・教育庁・警察本部） 102,043
 「安心こども基金」を活用し、家庭教育サポートセミナーの開催や子ども読書活動の推進、幼児を同乗させる場合の自転車安全利用教育など、子どもを安心して育てることができる環境の整備を図る。

（主な内容）

- ・ 水、偉人などの本県の宝の調べ方をまとめた冊子を作成 (6,563)
- ・ 県立美術館、博物館、自然の家での体験活動実施 (12,118)
- ・ 家庭教育サポートセミナーの開催 (10,889)
- ・ 子ども読書活動の推進 (1,339)
- ・ 子ども安心サポートチームによる安全活動の実施 (45,735)
- ・ 自転車安全利用教育の実施 (5,820)
- ・ 措置児童等への特別支援 (16,471)

12 新需要対応オリジナル水稲品種開発事業（農林水産部） 16,948
 収量性及び品質の安定性に優れた、本県独自の水稲品種を開発する。

13 森林整備加速化・林業再生基金事業（農林水産部） 107,337
 地球温暖化の防止に資する森林整備を促進するため、間伐や里山の再生などの対策を実施する。

14 公共事業・県単公共事業・維持補修費（一部再掲） 790,804
 （単位千円）

		農林水産部	土木部	計
普通建設事業	補正額	79,292	440,300	361,008
	累計額	16,874,357	6,352,428	23,226,785
災害復旧事業	補正額	0	0	0
	累計額	1,682,602	4,518,624	6,201,226
国直轄事業負担金	補正額	0	0	0
	累計額	9,015,210	14,245,707	23,260,917
公共事業計	補正額	79,292	440,300	361,008
	累計額	27,572,169	25,116,759	52,688,928
県単公共事業	補正額	4,596	289,500	294,096
	累計額	1,334,060	45,704,560	47,038,620
合計	補正額	74,696	729,800	655,104
	累計額	28,906,229	70,821,319	99,727,548
維持補修費	補正額	-	135,700	135,700
	累計額	-	10,612,390	10,612,390
総計	補正額	74,696	865,500	790,804
	累計額	28,906,229	81,433,709	110,339,938

平成22年度9月補正予算（一般会計）の概要

（単位 百万円）

1 予 算 規 模

補 正 額	2,729
本年度予算現計額	902,220
本年度予算累計額	904,948
前年度同期予算額 (H21年度9月補正後)	942,971
前年度同期比増減額	38,023
前年度同期比増減率	4.0%

2 補正額の財源内訳

国 庫 支 出 金	189
繰 入 金	1,848
繰 越 金	38
県 債	515
そ の 他	138

（注）表示単位未満の端数については、記載区分毎に四捨五入している。